

2010年4月25日

[ルート] 睡蓮沼→高田大岳→小岳鞍部→睡蓮沼

[参加者名] CL Y.HANADA 他6名

[コースタイム] (4/24)乗鞍岳下山後→15時過ぎ酸ヶ湯駐車場脇テント幕営 16:30 夕食 20:00 就寝

(4/25)07:24 睡蓮沼→08:25 アイゼン・ピッケル歩行訓練→滑落訓練→9:21 小休憩→09:49 小休憩→10:16 小休憩→10:50 山頂 11:00→11:55 小岳鞍部手前 昼食～12:25→13:35 睡蓮沼着→酸ヶ湯駐車場でテント撤収→14:50 横内P解散

[登山口までのアプローチ、登山口の様子]

酸ヶ湯駐車場脇に前日テント泊し、国道 103 号を睡蓮沼へ車で約 10 分位。車道はほとんど乾いていたがカーブのあたりは薄氷で慎重に運転。睡蓮沼は片側が広く除雪して有りそこに駐車。雪の階段にはロープあり。トイレも使用できた。

[山行記録]

春山合宿 2 日目 04:30 起床 05:15 朝食準備 05:35 朝食 06:40 2 台に分乗し酸ヶ湯発。06:50 睡蓮沼着。07:24 身支度整え、天候晴れ、新雪 5cm 位睡蓮沼を高田大岳の山頂まで白く続く沢目指して、CL Y.H さん先頭にツボ足ワカンで出発。小沢と少し下流では水が流れている涸沢？を慎重に越え、途中衣服調整や昨日のスキー跡や動物の足跡を見たりして進む。08:25 リーダーから『疲れた時に事故が起きる。使い慣れるためアイゼン・ピッケルに換えて歩行訓練する。』の指示。前爪あり 12 本アイゼンを始めて履き緊張感。その後緩い傾斜地で滑落訓練。初めて受けたがなかなか難しい。休憩時にピッケルで座る場所バケツを掘るも習う。木もほとんど生えていない急斜面で息が上がリピッケルとアイゼンで一步一步登る。懺悔の姿勢と言った人がいたがそのとおりだ。アイゼンの爪・ピッケルが効く。数回の小休憩に目が眩みそうな急斜面を振り返ると、昨日の乗鞍岳・先週歩いた櫛ヶ峰他の南八甲田の山々が全部見渡せる。こんなスゴイ景観を実物で見ると武者震いするほど心高ぶった。じっくり写真を撮りたいとチラリと思ったがそんな余裕も無い。途中からリーダーのすぐ後を歩く。トラバース時斜面山側にピッケルの跡が残る。滑落した時滑り落ちないようにピッケルを効果的に使うための位置と聞く。利き腕でなくても使えるように、次回は取りあえずストックで練習してみよう。風が強くなり、飛ばされないようにピッケルに力を入れて何度か立ち止まる。あと少しで傾斜が緩くなると聞いたが、急登のまま 10:50 ハイマツが生える山頂についた。祠にはエビの尻尾が付き、地面が少し顔を出していたが、ますます風強い。(※ ロープウエー 13:20 から強風のため運転中止。)CL・SL から高田大岳山頂 360 度のパノラマの説明を聞く。足元に雛岳・北八甲田の面々・昨日登った乗鞍岳や先週の櫛ヶ峰他南八甲田・八幡岳・黒森・十和田三山・かすかに十和田湖も・谷地温泉・猿倉温泉の屋根等々。もっともっと見えているが風が強くゆっくりしている間もない。山頂に 10 分もいたのだろうか。小岳との鞍部から登ってきたスノーシュの跡あり。高田東斜面をボードで楽しんだのだろうか？ハイマツ帯を注意深くゆっくり下りる。それでもアオモリドマツ帯まで下ると南西の強風も木々に遮られて 穏やかになり緊張が緩んだ。ボードを背負いワカンで登ってくる若者一人に会う。だんだん曇ってきた。アオモリドマツに霧氷、いや雪が付き初期の樹氷？が美しい。この地点から見た高田は仙人岱から見た小岳のような可愛らしさをも感じた。標高差からいくと同じ位かもしれないが、いつも見ている雄大な高田の山容とは異なり、意外な感じがした。山も見る位置でいろんな姿があるのだろう。11:55 前方には櫛ヶ峰後ろに高田のベストポジションで風を避け木の下でランチ。昨日のおにぎりは固くなっているとかで、やはりこの時期はパンかな？30分ほどランチタイム後小岳との鞍部まで下り睡蓮沼までコンパス 205 度に合わせた。登りとは比べようもない緩やかな斜度の雪原を快適に下る。雪が腐ってきた。それまでツボ足・アイゼンの人も途中から全員ワカンにした。小雪も降り出し、テント撤収ありで歩みを早くと思いながらも疲れが出てきたのかピッチ上がらず先頭との差がひらく。それでも確実に下る。『今日登ったのはあの沢だ

よネ！』と何度も高田を振り返った。スキーポールも出て来て 国道 103 号雪の回廊も見えた。西寄りに行きすぎ、雪の回廊上を歩き睡蓮沼を回りこんだけど、13:35 全員無事睡蓮沼着。ごく一部融けた沼が朝より少し広がっていた。CL 以外初めてのこのコースを歩ききった満足に皆高揚していた。酸ヶ湯まで戻り、小雨の中テント撤収する。14:50 横内 P 解散。

今回のメンバー4名は来週の鳥海山合宿へ参加する。雨で濡れたテント乾しはSLが引き受けた。テント幕営・撤収・管理等まだまだ身につけなければならない課題多い。歩き・読図・コンパス・テント泊の知識・天候・ピッケル・アイゼン技術等々常に学習が必要だ。今回の春山合宿でピッケル・アイゼン、テント泊の経験が出来た。その経験を今後につなげる事が責任を持って指導してくれたCL・SLへの感謝だろうしM.M自身のレベルアップへの道だろう。アイゼン・ピッケルは斜面に深く入り心強かった。今日の急斜面ではアイゼン・ピッケルは必携だが、ただピッケルに慣れていない身にはバランスとりにくく、一笑にふされるだろうが片手にストックを持ち疲労を少なくして、安定した歩きにつなげたく、いつか試したいと思う。春山合宿は、かなり緊張したが、得る事多く充実した2日間で参加して良かった。

個人的反省:慌しくして高度設定せず。記録と写真のみ。現在地をその都度地図と照合せず、後日今日の振り返りをする時の楽しみが半減した。24 日夜 K.TSUSHIMA さんが差し入れ・山道具の最新情報の陣中見舞いに来てくれた。ありがとう。

報告 M.MINAMI



07:24 睡蓮沼出発



12:19 昼食地点から



10:52 高田大岳山頂